

# NPO 自立支援センター ふるさとの会

2007.10.20  
【第10号】



これはHTML形式  
のMAILです。  
オンラインが無い場合  
は画像が表示され  
ない可能性があります。

HOME PAGE

SCHEDULE

EVENT table

※ふるさとの会のメールマガジンをご愛読いただき、誠にありがとうございます。  
今後もふるさとの会の活動内容を定期的に情報発信させていただきたいと存じます。  
ご不要の場合はお手数ですがご返信くださいますようお願いいたします。

## INDEX

- ① 第13回ふるさとの会シンポジウム開催報告
- ② 東駒形荘認知症予防合宿
- ③ 敬老会参加報告
- ④ 宿泊所避難訓練報告＋首都圏統一帰宅困難者対応訓練のお知らせ
- ⑤ 19年度移行支援事業開始！
- ⑥ 書誌ライブラリー更新のお知らせ
- ⑦ 今月のボランティア募集(みんなのひろば祭り・参加者募集)

### ① 第13回ふるさとの会シンポジウム開催報告

毎年テーマを変えて開催される、ふるさとの会のシンポジウム。今年はテーマを[～ホームレス自立支援の新たな課題～「社会的入院」問題から居住支援と地域ケアを考える]として、去る10月8日にすみだ生涯学習センター ユートリアにてこれを開催しました。当日は雨に見舞われる悪天候にもかかわらず、定員200名のところ、215名にのぼる方々にお越しいただき、自然に議論等白熱し充実した内容をもってこのシンポジウムを終えることができたように思います。

#### 式次第

主催者挨拶 佐久間裕章(特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会事務局長)

来賓挨拶 奥田和志氏(ホームレス支援全国ネットワーク代表世話人)

／特定非営利活動法人北九州ホームレス支援機構代表)

清田淳氏(東京都社会福祉協議会医療部会／養育会病院 地域連帯室係長)

吐師秀典氏(特定非営利活動法人友愛会 理事長)

基調公演『療養病床の再編成と地域ケア体制の整備』

矢田真司氏(厚生労働省地域ケア・療養病床転換推進室 室長)

実践報告『ふるさとの会の取り組み～自立援助ホームふるさとホテル三晃および東駒形荘における実践』

滝脇憲(特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会)

調査報告『自立援助ホームにおけるコストスタディ』

稲田七海氏(国立社会保障・人口問題研究所 客員研究員)

パネルディスカッション『「社会的入院」問題と地域における居住・生活支援』

コーディネーター 阪東美智子氏(国立保健医療科学院 建築衛生部 主任研究官)

パネリスト 安仁屋衣子氏(更生中央病院医療ソーシャルワーカー、転院問題を考える会)

稲田七海氏(国立社会保障・人口問題研究所 客員研究員)

上原隆夫氏(新宿区福祉部生活福祉課相談係係長)

水田恵(特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会 代表理事)

閉会后、普段お世話になっている医療ソーシャルワーカーの方にお会いした際「たいへん勉強になりました」とのお声をいただきました。個人的にはそれ以前に主催者側でありながら自分の勉強不足を実感させられました。特にパネルディスカッションでの「社会的入院」をめぐる議論には、その問題の根深さを改めて気付かされました。各方面の識者の皆様の議論への参加は大変貴重なものでありました。  
(辻 真)

シンポジウムの終了後、ふるさとの会本部ビル3Fに場所を移して、懇親会を催しました。給食センターの心づくしの料理をつまみながら、70名を数える方々に懇談いただきました。

ホームレス支援をともに行ってきたNPOの方々、学者研究者の皆さま、厚生労働省、東京都、23区、福祉事務所のほか、今回のテーマである医療関係者の姿も目立ちました。また、更生保護事業などふるさとの会の新たな展開に向けて、関係の深まりつつある、企業、金融機関などの皆さまにもご参加いただき、夜の深まるまで熱い交流は続きました。

(シンポジウム担当)



厚労省矢田氏による基調講演



200名定員の会場が文字通り満員となる盛況でした



熱い議論が繰り広げられたシンポ。  
会場からも多くの熱い質問が寄せられました



懇親会では、改めてふるさとの会を取り巻くネットワー  
クの厚さに感激し、親しく交流していただきました

## ② 東駒形荘認知症予防合宿

今回2回目となる認知症予防合宿は、10月6日から1泊にて那須塩原へ行きました。参加者は利用者様10名、職員5名、ボランティア4名の計19名にて、東駒形荘よりバスでホテルおおるりへ向かいました。

合宿中は利用者様の笑顔が印象的でした。温かい温泉、美味しい料理、ホテルからの絶景等、皆様喜ばれていました。1回目の合宿と違う所として、活動をグループ分けしたことでした。

自然の中の散策チーム、大衆演劇チーム、足湯チームと、利用者様の希望を考慮しつつ、各人のADL、認知力等を考慮し、機能向上プログラムとしての班分けを行ないました。利用者様個々に沿った活動のため、意欲的、活動的な姿が印象に残りました。

予防効果としては、旅行中から利用者様同士の気遣い等コミュニケーション能力の向上や、ホテル内の散策や、食事中におかわりをとりに行くといった自発的な行動が見られました。

合宿中一番の笑顔は温泉の時だったと思います。気持ちよさそうな笑顔は介助側としても和まされました。普段の生活にこのようなアクセントが加わる事で、生きがい生まれてくると思いました。

合宿から帰った利用者様より、楽しかった、また行きたいといった声が聞けましたが、認知症の影響により、行った事を忘れられている方もおられました。しかしスタッフの方からは、帰館後は活動的になってきたという声も聞けました。この調子を保ちつつ、絶えず活動的になれるプログラムをも検討していくということでした。

(榎澤正彦)



付き添った職員とともにほじけるような笑顔



温泉での旅行は生きがいと張り合いを皆に与えます

## ③ 敬老会参加報告

9月15日(土)旧田中小学校にて、山谷地域敬老会が開催されました。1,200名近くの方が参加しました。運営に携わったのは、城北労働・福祉センター、千寿苑、訪問看護ステーションコスモス、山谷マック、ふるさとの会(職員・ボランティア)。当日までに月一の会合を設け、準備の確認をしました。参加者の中にはご高齢の方、車椅子の方も多く、エレベーターのない旧小学校の2階・3階まで上がるのはスタッフが介助しました。

演芸会の前に荒川保健所の保健師の方から「風邪と結核について」のお話をいただきました。当日は晴天に恵まれましたがかなり蒸し暑く、会場では団扇を使う人が多く見られました。

出演者はフラダンスのカ・フラ・オ・マヌオイ・オルの皆さん、地元の簡易宿泊所で働いている明石詩子さんの歌、美貴じゅん子さんの歌、司会もつとめていただいた竹山京季さんの歌、ふるさとの会の山谷夏祭りにも出演して下さった物江民夫さんの歌、そして最後にこまどり姉妹のお二人でした。こまどり姉妹は往年の大スターで、浅草を舞台に芸能活動をしてこられた芸人さんです。敬老会に来られる方なら誰もが知っています。蒸し暑い中、着物姿での歌と踊りは大変だったと思います。でも、そこはさすがに大ベテラン、しっかりと観衆の心を掴んでいました。

間に休憩をはさみましたが最後まで会場は満員で、大盛況のうちに山谷敬老会は終演しました。

(馬場英夫)



昔の若者にはこまどり姉妹は永遠の大スターです。華やかなステージに皆うっとりしました

#### ④ 宿泊所避難訓練報告＋首都圏統一帰宅困難者対応訓練のお知らせ

9月22日ふるさとの会では大地震発生を想定した避難訓練を行いました。私が取材した“あさひ館”を訪ねると、参加する利用者さん6名はすでにリビングに座って開始時間を待っていました。さて14時、亀原館長が大声で叫びます。“地震だ！落ち着け、机の下に隠れる！”。すると皆さんよいしょ、よいしょ、とちよつとスローですが机の下に身を隠します。一時避難所である吉原公園では日の出館の利用者さんと合流し、逃げ遅れた利用者がいないかの確認を行ないました。

その後ふるさとの会本部ビルまで移動し、宿泊所責任者から“スムーズな流れで行われた”、との講評がありました。真夏の避難訓練、利用者さんにとってはちょっとしたお散歩だったようですが、職員にとっては、いざという時にどう行動をすればよいのかを確かめる貴重な時間となりました。

全宿泊所の訓練終了後、参加職員全員は汐入公園に集合、ブルーシートを広げ車座に座り反省会を行いました。緊急連絡網を早急にするべきとの意見、また地域との連携・協力体制作りなども必要であるとの災害対策委員からの意見。そして介護度の高い宿泊者を多く抱えるあさひ館の近くで勤務する事務局職員からは“情報収集もさることながら、まずあさひ館に駆けつけよう”との意見が出されました。

素敵な職員だなあと感じ入った私自身は今回の訓練でNPOで働く一職員として緊急時の役割分担を担うべく心させられたいい機会でした。しかしながら今後そのような時に会わない事を切に願っています。

(佐藤信子)



ふるさとあさひ館では利用者さん同士助け合って避難 段差のある吉原公園からは職員が介助して移動

## 巨大災害に備える 2007年首都圏統一帰宅困難者対応訓練 の お知らせ

来る11月17日、首都圏での巨大災害を想定した『首都圏統一帰宅困難者対応訓練』が、東京災害ボランティアネットワークの主管で行われます。これまでもふるさとの会では、東災ボに参加し、三宅島や中越など被災地での支援活動や訓練などに就労メンバーや職員を派遣してきました。今回は、横網公園にエイドステーションを設置・運営し、徒歩で帰宅する参加者に、お茶だし、コース説明などのボランティアを行います。参加ご希望の方はご連絡下さい。

連絡先: 自立支援センターふるさとの会 担当: 小林・新行内  
〒111-0031台東区千束4-39-6-3F  
電話 03-5808-5205 FAX 03-5808-0446  
本訓練に関する詳しいことは以下のサイトでご覧下さい。  
<http://www.tosaibo.net/>

### ⑤ 19年度移行支援事業開始！

ふるさとの会での地域生活移行支援事業の受託は、平成16年度から今回で3回目です。これまでに、16年度～17年度で105名、18年度で136名の路上生活をされていた方々が、アパートへ入居されました。今回は白鬚橋～水神大橋を經由し、綾瀬橋までの墨田区左岸を範囲としたエリアを対象としています。

19年度の地域生活移行支援事業は、8月13日よりスタートしました。今回で事業が最後ということもあって、多くのアパートへの入居希望者がいると予想されるようです。

スタッフの声として移行支援事業担当の菅沼職員に聞きました。

『地域生活移行支援事業はホームレス支援の入り口として有効な手段の一つで、テント生活からアパート生活への文字通り『移行』を援助して行くものです。しかし、人間不信、借金、家族問題など、いろいろな問題を抱えている方が多くおられ、アパートでの生活が安定してできるように簡単にはならないこともあり、様々な課題をふるさとの会や他の社会資源を活用し、1つ1つ解決できるよう支援しています。9月10日には河原に特設ブースを開設し、また、テントを訪問するなどして、相談業務を行っています。

最初のうち、アウトリーチ(声かけ&参加意向聞き取り)で参加を拒否されていた方が、説得によりアパートへ入居を果たした時や、自立生活を始められた方が出てきた時には、毎日テントに通ったかいいがあったと思います。この事業を行ってきたことの喜びを感じます。』

今回、私もアウトリーチ活動に参加しながら現場の取材をして、この夏は猛暑で大変だったと思いました。やりがいを感じる仕事だからこそ頑張れるののだと感じました。私が訪問した方の中にも、スタッフの訪問を待ち望んでいる方々も多くいらしたことから、職員たちの努力が伝わっているののだと感じられました。

(榎澤正彦)



隅田川沿いのテントでの聞き取りに向かうスタッフ アウトリーチは2人一組で一軒一軒訪ねて歩きます

### ♪一口MEMO 地域生活移行支援事業 とは？♪

平成16年度より、ふるさとの会は東京都と特別区の共同の事業（ホームレス地域生活移行支援事業）を受託し運営しています。

公園等で路上生活を送る方に対し、まずは低家賃の借り上げアパートを貸し付け（居住支援）、地域において安定した住居を確保した上で、自立に向けた支援（生活サポート、就労支援）を提供するという画期的な取り組みです（ハウジングファースト）。

ふるさとの会では、墨田区立隅田公園及びその周辺地域を対象にした同事業における生活サポート業務の委託を受け（平成18年4月より、生活サポート受託団体で構成させる「サポートセンター事業組合」に組合員として参加）、

平成16年12月よりテント訪問を通じた相談活動を開始。計105名の方を地域生活へと移行し、平成18年度には計136名の方が地域生活へ移行し、現在まで生活支援を続けています。

また、平成19年度には隅田川左岸地域（白鬚橋上流）での事業を受託し、8月から対象者に向けた相談活動を開始しています。平成20年3月には地域生活への移行を終える予定です。

### ⑥ 書誌ライブラリー更新のお知らせ

秋も深まり、恒例のシンポジウムもおかげさまで無事盛況のうちに終了しました。ご参加いただきました方々に、心より深く感謝申し上げます。

さて、シンポジウムの当日資料にも入れさせていただきましたが、ふるさとの会の居住福祉の考え方を示す、論考『NPOによる自立支援型居住福祉のあり方について』／滝脇憲 著（ふるさとの会）／季刊Shelter-less No. 32 をふるさとの会ホームページの書誌ライブラリーに掲載しました。

ぜひ一読下さい。

[http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/hurusato\\_top/library/library.html](http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/hurusato_top/library/library.html)

### ⑦ 今月のボランティア募集(みんなのひろば祭り・参加者募集)

今年もまた、台東区の入谷南公園にて第23回を迎える「みんなのひろば祭り」が開催されます。台東区内の障害者の方・介助のボランティア団体・台東区社会福祉協議会の皆さんが一同に会する、年に一度のビッグイベントです。

ふるさとの会では毎年実行委員会に参加し、今年で15回目の参加です。準備から当日の屋台の運営、最後の片付けまでお手伝いさせていただきます。舞台では歌や演奏などのパフォーマンスが繰り広げられ、周辺では焼きそば・クレープ・フランクフルトなどの定番のほか、縁日などではお目にかかれない様々なメニューの看板が軒を連ねています。

ふるさとの会では今年も「モツ煮込み」の屋台を出します。前日11月2日の19:00～21:00に仕込みをし、11月3日当日の朝9:00に会場に運び、10:00頃から販売を開始します。当会では前日の準備と当日の屋台の販売を手伝ってくださるボランティアの方を募集しています。

年に一度のお祭りをいっしょに楽しみませんか？ご連絡をお待ちしています。

### みんなのひろば祭り

日時:11月3日(土・祝)10:00～15:00

場所:入谷南公園[小雨決行]

主催:みんなのひろば祭り実行委員会 共催:台東区社会福祉協議会

ボランティアのお問い合わせ・連絡先:TEL03-3801-0881

ボランティアサークルふるさとの会 町田・馬場



例年大人気のふるさとの会名物モツ煮込み



入谷駅から徒歩五分。当日のみの参加も歓迎です

発行元：特定非営利活動法人 自立支援センターふるさとの会  
〒111-0031東京都台東区千束4-39-6  
TEL:03-3876-8150 FAX:03-3876-7950  
[hurusato@d5.dion.ne.jp](mailto:hurusato@d5.dion.ne.jp)  
HP : <http://www.d5.dion.ne.jp/~hurusato/>